

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和5年8月31日

独立行政法人水資源機構

木曽川用水総合管理所長 本田 毅

1. 目 的

この歩掛参考見積の依頼は、木曽川用水総合管理所で予定している「長良導水取水口部堆積土砂撤去工事（仮称）」の積算の参考とするための作業歩掛を依頼するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、堆積土砂撤去に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。詳細は別紙1を参照願います。

なお、参考見積書の様式は別紙2-1-1～別紙2-3を参考にして下さい。

- (2) 見積有効期間：令和6年3月31日までとします。
- (3) 提出期間：令和5年9月8日(金)から令和5年9月13日(水)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後5時まで

- (4) 提出先

独立行政法人水資源機構 木曽川用水総合管理所長 本田 毅 宛

【担当】長良導水管理所 中川 義久、行成 和彦

〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026

TEL 0594-42-5671 FAX 0594-42-5674

- (5) 提出方法

書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 工事内容

別紙1の通りとします。

- (2) 工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛等参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準

及び積算資料（土木工事編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

- ② 歩掛等参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記(1)を実施するために必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(3) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和5年9月1日(金) から令和5年9月5日(火)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：3. (4) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (5) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和5年9月7日(木) から令和5年9月13日(水)まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

以上

見積仕様書

1. 工事概要

本工事は、取水口前面（水みち部）に堆積した土砂(150m³～300m³)を撤去する工事を行うものである。

2. 工事場所

三重県桑名市長島町西外面地内（長良導水取水口）

3. 作業期間

令和6年2月中旬～令和6年3月末

4. 現場条件

撤去箇所標高：T.P. -1.1m ～ T.P. -2.1m (No. 22～No. 50)

T.P. -2.1m ～ T.P. -4.0m (No. 0～No. 22)

掘削深：最大1.0m

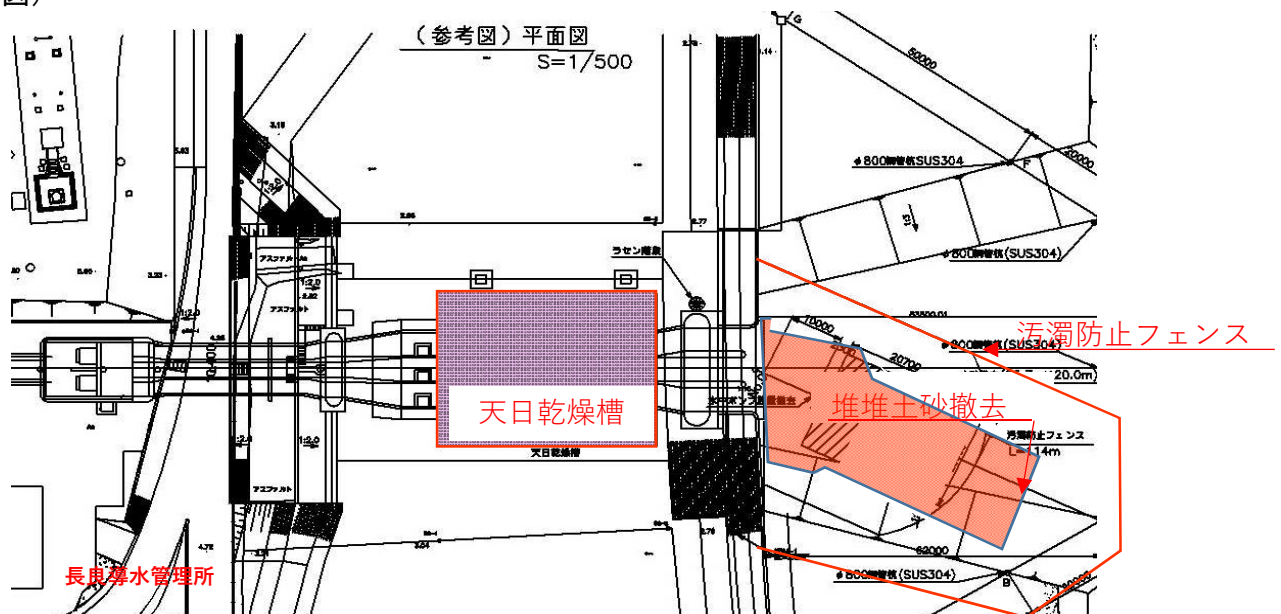
流 速：おおよそ0.3m/s

土砂撤去範囲：幅20m×延長30m

平均断面積：10m²

5. 掘削範囲

(平面図)



(パターン1)

施工範囲：No. 0～No. 22のみ

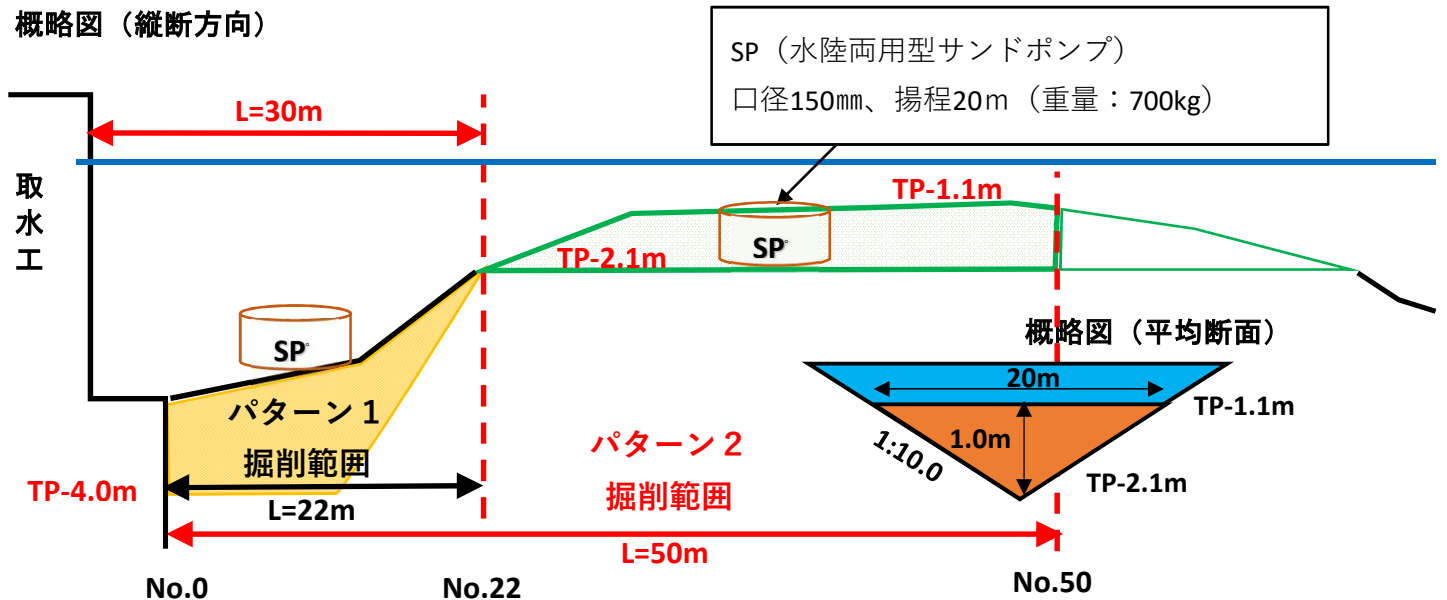
※場合によっては、No. -1.5～No. 0の施工もありうる。

(パターン2)

施工範囲：No. 0～No. 50

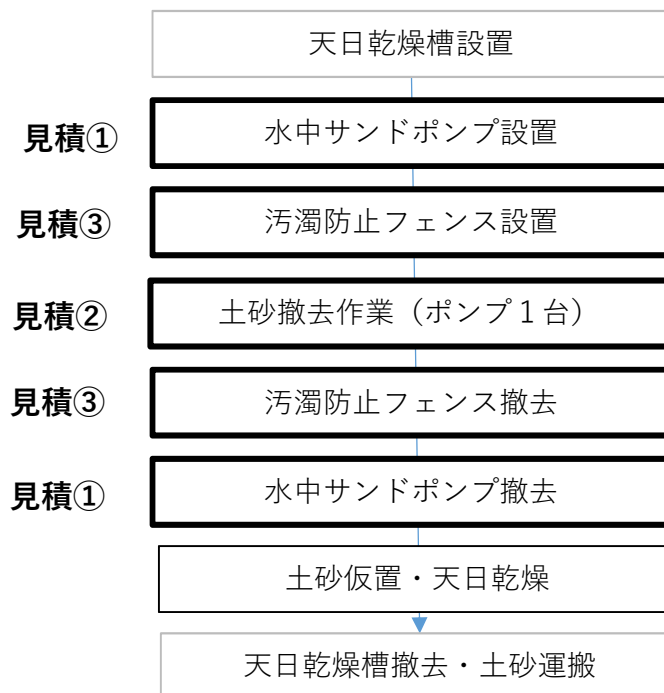
※場合によっては、No. 50～No. 65の施工もありうる。

概略図（縦断方向）

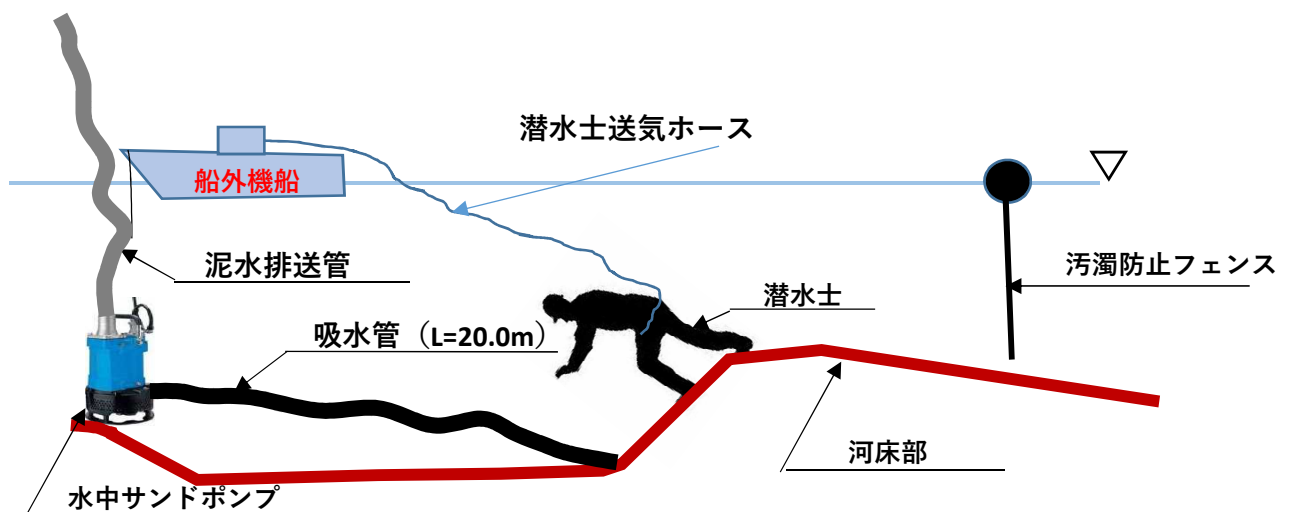


6. 施工方法

【施工フロー】太枠部：今回歩掛見積対象



土砂撤去イメージ



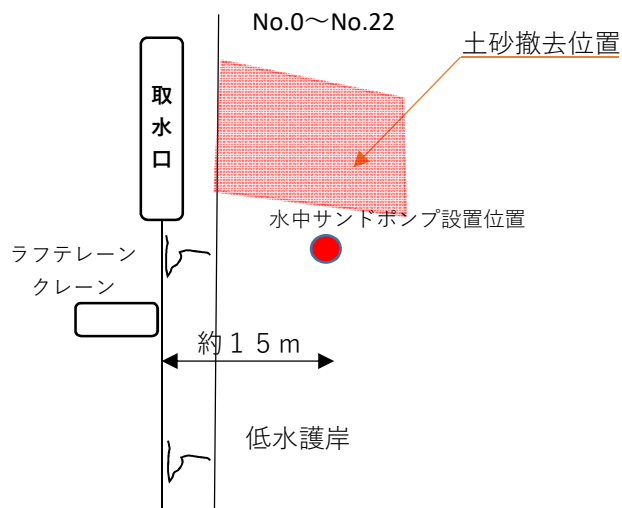
【見積①（水中サンドポンプ）及び見積②（土砂撤去作業）】

（パターン１）

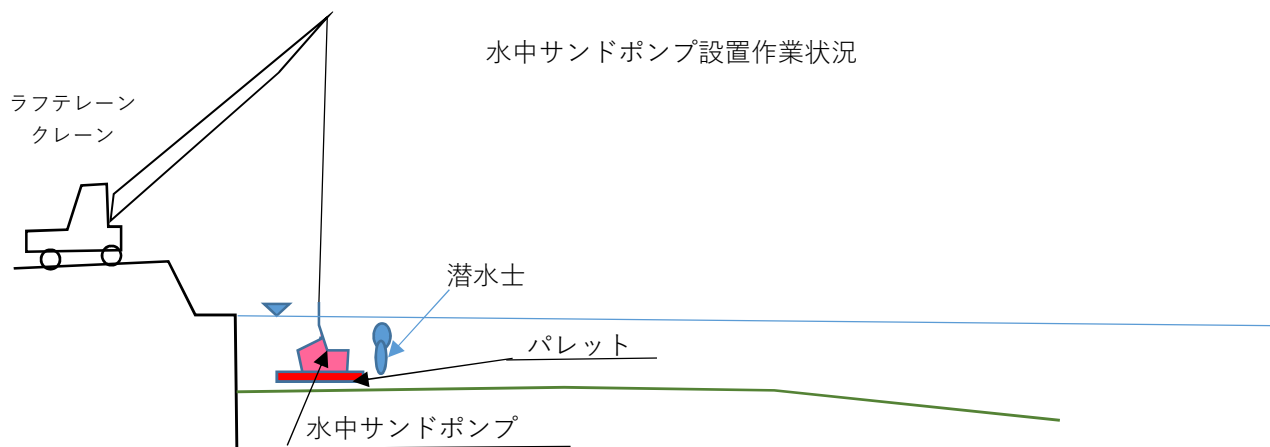
施工範囲：No. 0～No. 22のみ

SP（サンドポンプ）を、取水口から30m以内の箇所に設置して土砂撤去を行う。

水中サンドポンプ設置状況略図



水中サンドポンプ設置作業状況

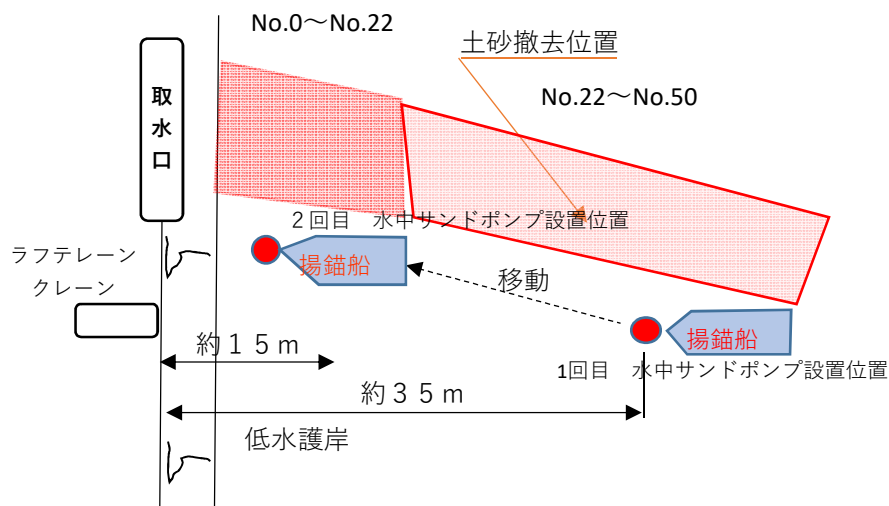


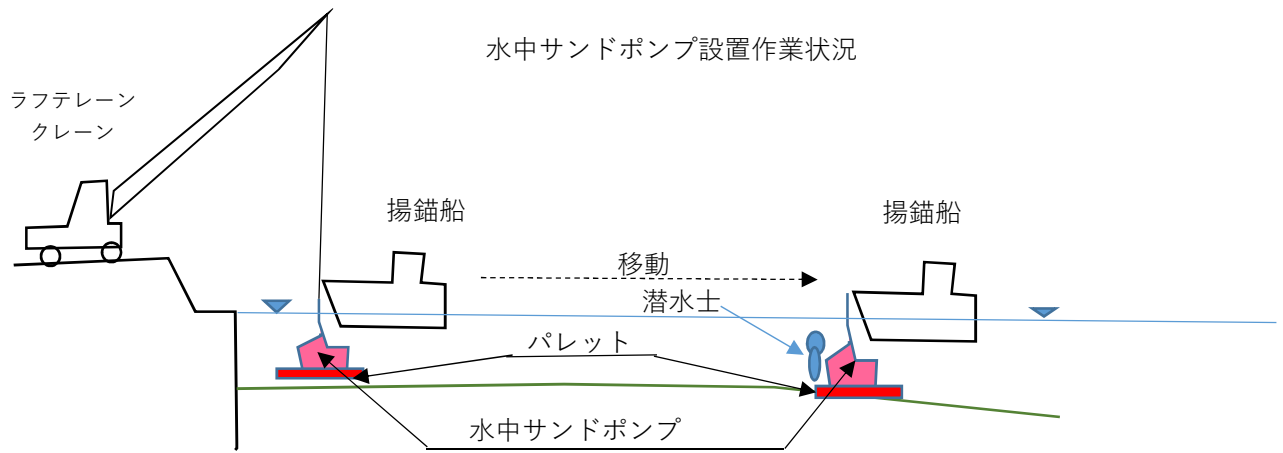
（パターン２）

施工範囲：No. 0～No. 50

SP（サンドポンプ）を、取水口から30m～50mの範囲に揚錨船で移動して設置し、No. 22～50の範囲を施工した後、パターン１の範囲に再度揚錨船でSPを移動させ、土砂撤去を行う。

水中サンドポンプ設置状況略図

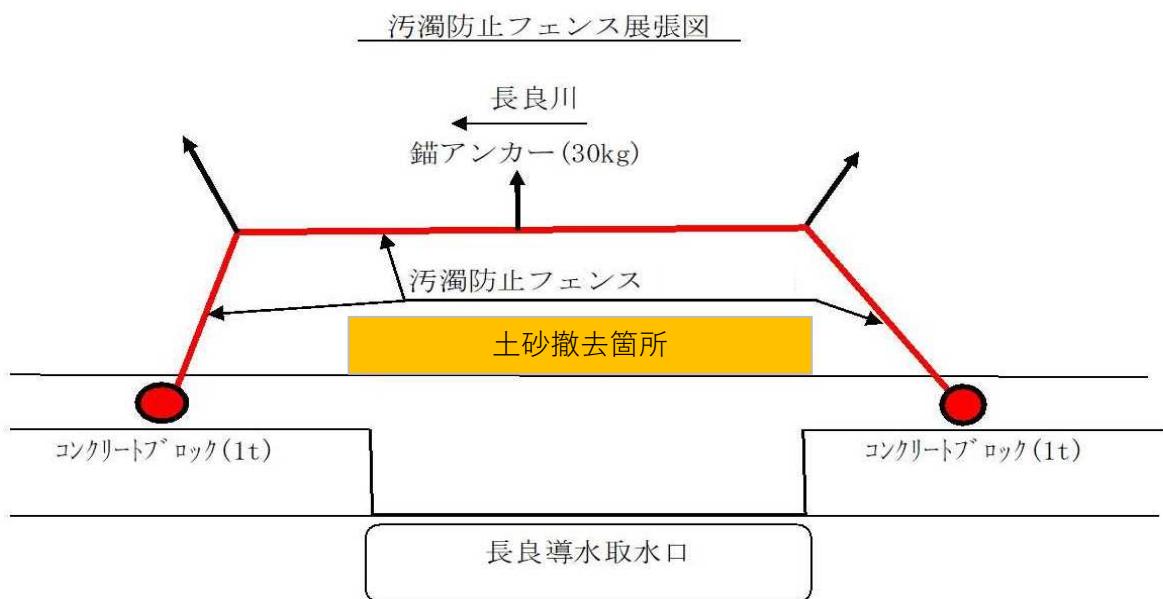




【見積③（汚濁防止フェンス）】

長良導水取水口部にラフテレーンクレーンを据え、陸側にコンクリートブロックを設置した上で、船舶により汚濁防止フェンスを曳航させ、錨を土砂撤去範囲の外側へ据えて設置する。

※概略図（2ページ目参照）のとおり、取水口から20m沖では浅瀬になっているため、見積の際に注意すること。



7. 様式

・様式は別紙を参考として作成すること。なお、見積別の様式は以下の通り。

- 別紙 2-1-1 : 見積①（パターン 1）
- 別紙 2-1-2 : 見積①（パターン 2）
- 別紙 2-2-1 : 見積②（パターン 1）
- 別紙 2-2-2 : 見積②（パターン 2）
- 別紙 2-3 : 見積③（パターン 1・2 共通）

8. 注意事項

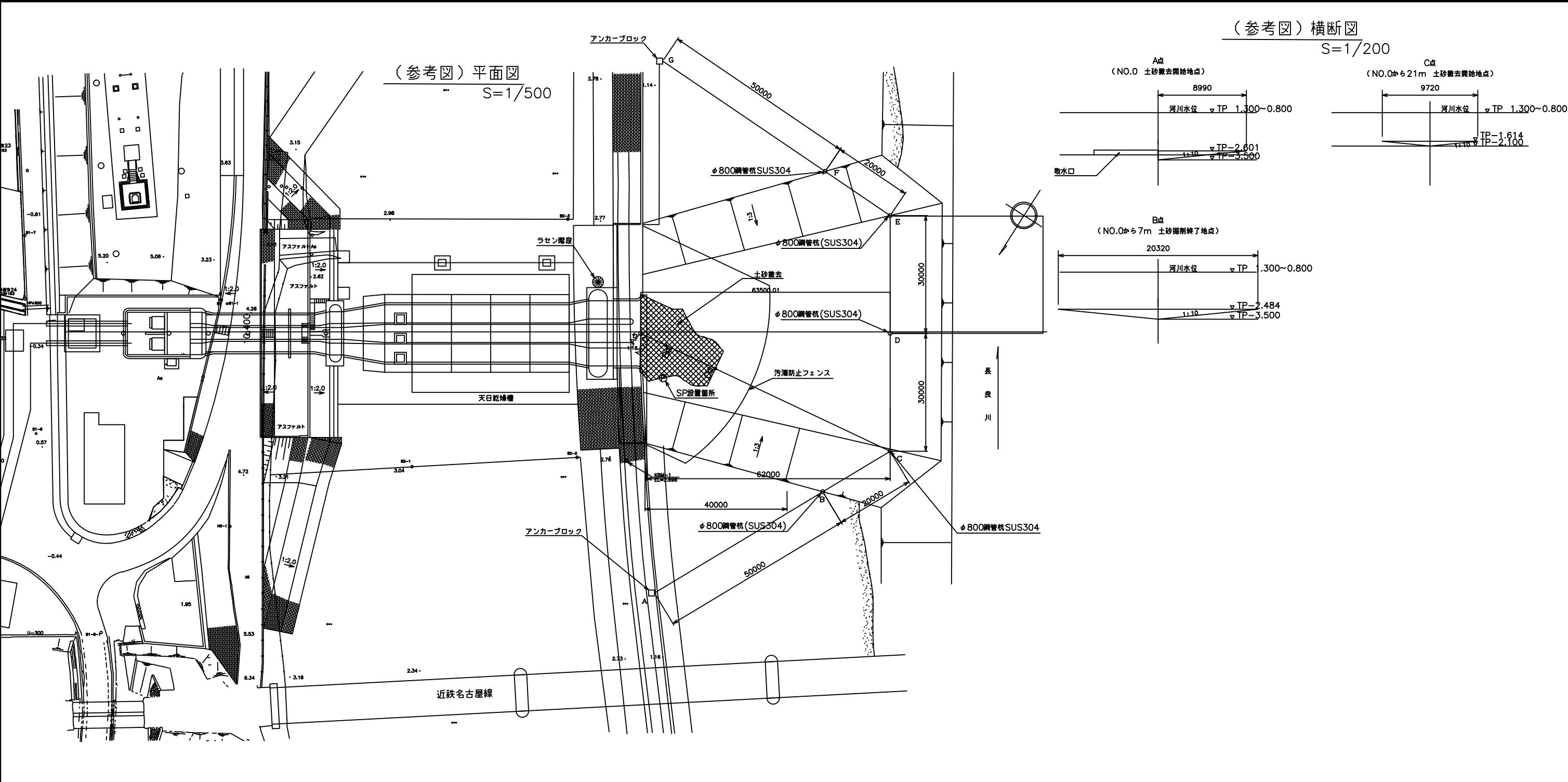
- ・見積①及び見積②については、パターン 1 とパターン 2 の 2 種類を提出すること。
- ・見積②については日平均作業量を記載すること。
- ・見積③についてはパターン 1、パターン 2 共通であるため 1 種類である。

位置図

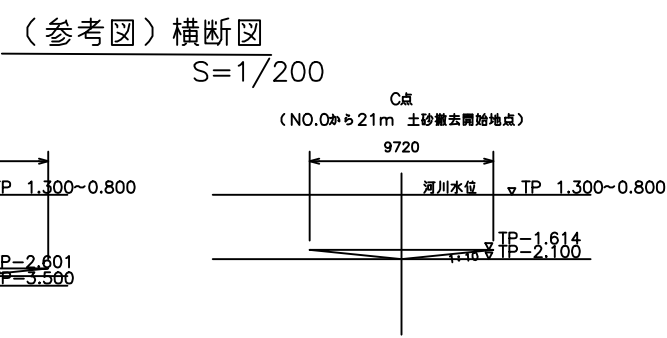
工事場所

1:25,000

工事名	
名称	
位置図	
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 木曽川用水総合管理所	



(参考図) 平面図
S=1/500

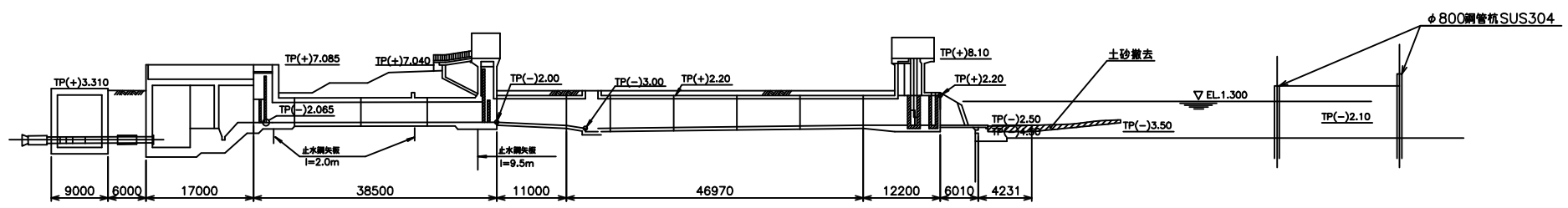


(参考図) 横断面図
S=1/200

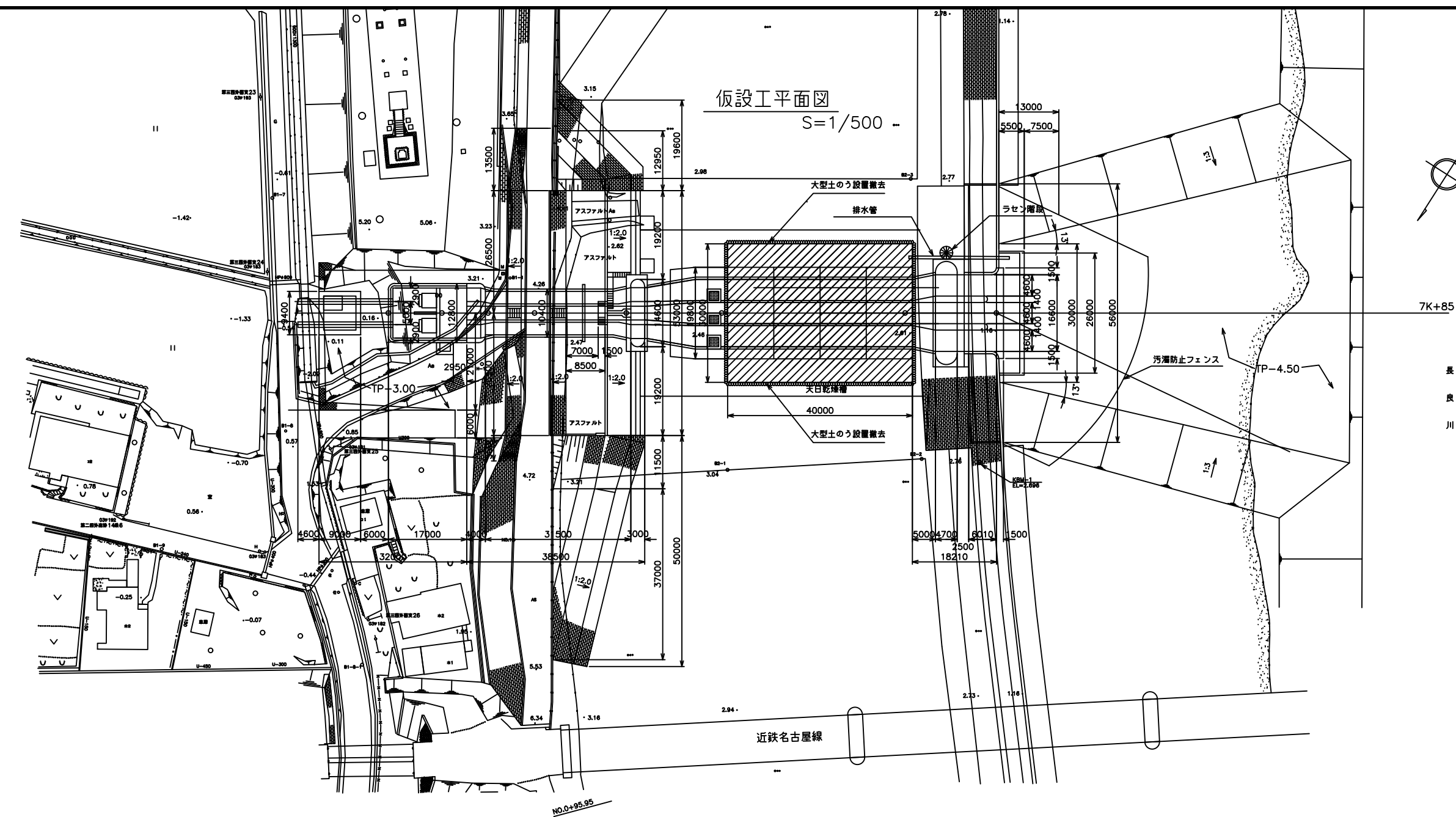
A点
(NO.0 土砂撤去開始地点)
河川水位 TP 1.300~0.800
TP=2.601
TP=3.500
取水口

B点
(NO.0から7m 土砂撤去終了地点)
河川水位 TP 1.300~0.800
TP=2.484
TP=3.500

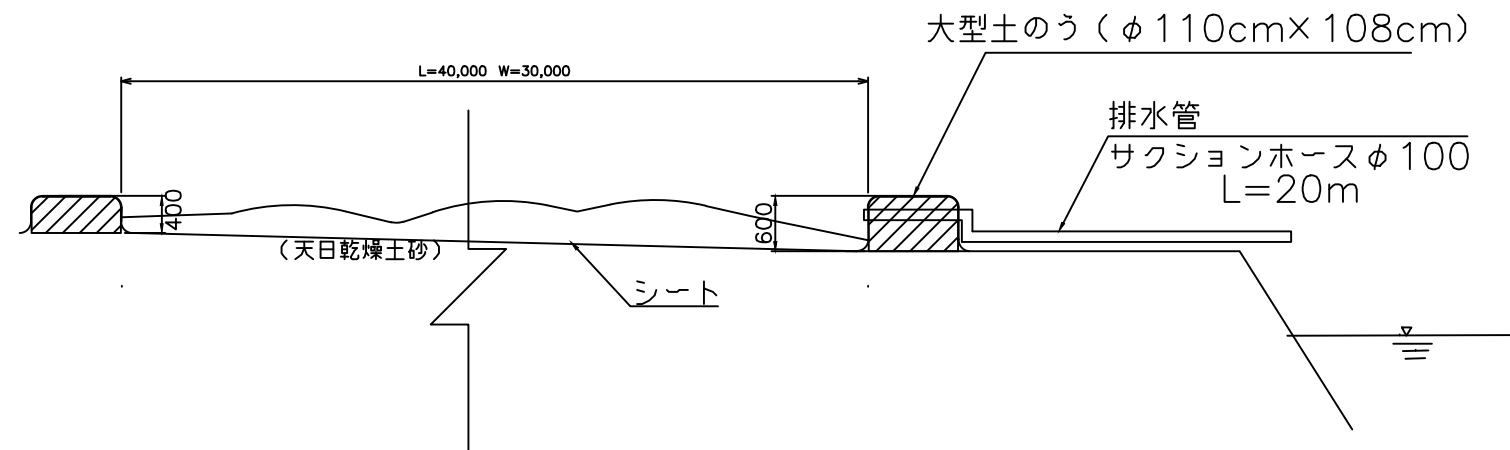
縦断面図
S=1/500



工 事 名	
名 称	
土砂撤去平面図・横断面図	
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 木曽川用水総合管理所	



天日乾燥槽断面図



工事名	
名称	
仮設工平面図	
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 木曽川用水総合管理所	